

ほっかいどう か しんこうけいかく
北海道花き振興計画
そあん がいよう ばん
素案の概要（やさしい版）

「北海道花き振興計画」は、北海道のお花に関係するお仕事がこれからも成長し、お花のある暮らしにより、みんなが元気で幸せになるため、どのような取組を進めていくかをまとめたものです。

農家さんが、これからも元気に新鮮なお花をつくるため、また、多くの人に北海道でつくられたお花を手にとってもらうために、「こんなことをしたらいいよ!」と思うことがあったら、ぜひ教えてください!

パソコンやスマートフォンなどから、あなたの意見を簡単に提出することができます!



<https://www.harp.lg.jp/m7WQyaem>

「おとなのみなさまへ」

この資料は「北海道花き振興計画」の策定に当たって、こどものみなさんの意見を聴くためにつくりました。ぜひお子様と一緒に読みください。

なお、大人向けの意見募集も行っておりますので、下記ホームページをご覧ください。



<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/nsk/hana/public.html>

Q 北海道の「お花をつくる農業」等の特徴は?

昼と夜との温度差が大きい北海道でつくるお花は、花の色がより鮮やかと言われ、多くの人に高い評価を受けています。

また、北海道でつくるお花の約7割が北海道以外に運ばれ、全国の多くの人の手に取ってもらうなど、全国でも有数の産地となっています。

さらに、令和2年7月に定めた「北海道花きの振興に関する条例」の中で、毎年8月7日を「北海道花の日」として、お花に関係する団体等と一緒に北海道のお花のPRを行い、みなさんに知ってもらうための取組を進めています。

Q 北海道ではどのようなお花が作られているの？

切り花では「スターチス」「カーネーション」「ゆり」「デルフィニウム」「ひまわり」が多く作られているほか、鉢花や花壇用の苗ものなども農家さんによって作られています。

Q お花をつくり多くの人の手にわたるまででどのような問題があるの？

- ①お花をつくる農家さんや作る量が減っていること
 - ②最近では毎年、暑い日が多く、お花づくりが難しくなっていること
 - ③お花を運ぶトラックや航空機などの経費が高くなっていること
 - ④お花をつくるのに多くのお金がかかること
 - ⑤お花を買ったり、贈ったりする人が少ないこと
- など、たくさんのお花の問題があります。

Q 新しい計画のポイントは何？

農家さんの後継者や新しくお花をつくる人を育てたり、お花をつくるハウスが暑くなりすぎないように取組を進めるなど、安定してお花をつくる環境をつくります。

また、多くの人のお花を取ってもらえるよう、新鮮で日持ちのするお花づくりや輸送ができるように工夫したり、日頃の生活の中でお花を使ってもらえるよう魅力を発信する取組などを進めます。

そして、北海道におけるお花の産出額の将来の目標を決めています。

花き	単位	現状 (令和5年度)		目標 (令和12年度)
産出額	億円	117	→	137

